



こんにちは

日本共産党市会議員

<議会報告>

玉本なるみ

です

連絡先：日本共産党北地区委員会

☎075 - 432 - 3261

2015年5月②発行

憲法集会 5月3日

(円山野外音楽堂)

安倍政権が日本を戦争できる国にしようと加速する中での今年の憲法集会は、例年以上の参加で盛り上がりました。円山野外音楽堂に入りきれないほどの参加者でした。

左から3番目が玉本市議



記念講演の元内閣官房副長官補の柳澤協二さんのお話は、戦争を身近に感じるリアルなお話でした。サマワに自衛隊を行かせていた側だった方のお話だけに、緊迫感を感じました。

実際、後方支援地とされていたイラクのサマワにはロケット弾が20数発飛んできていたそうです。「一人も戦死者がなかったこともあるが、一発も撃っていない」ということを当時の小泉純一郎首相に言われたそうです。しかし、イラクに派遣された自衛隊員がPTSDになり、これまでに29人の自殺者が出ているそうです。撃たなくても自殺者が出ているのです。戦争は終わっていないのです。今後、もし戦闘地域に行くことになると、もっと大変なことになるでしょう。



集会後の憲法パレードは、南区の森田議員が持参された戦争ホウキをひとつ貸してもらって、掲げて歩きました。

いよいよ、新しい議会が始まります。5月18日～

新しい議会は、自民党21人、**共産党18人**、公明党11人、民主都みらい7人、維新の党・無所属の会5人、京都党5人という構成です。維新の党の議員は今回初めて、京都市議会に入ってきました。共産党の18人も6人が新人議員です。女性議員は全体で12人、内8人が日本共産党の議員です。

来年2月は市長選挙があります。これまで市長は、民間ができることは民間にと、公的責任をどんどんと後退させてきました。公立保育園の民間移管や京都市の大切な施設や土地などもどんどん売り払っています。市民の皆さんからは、身近なところに集えるところや子ども達を遊ばせる場所などが欲しいとよく伺います。この声に応じて、頑張ります！

住むところによって医療費が違うのはおかしい！

一斉地方選挙の後半戦では城陽市に応援に行きました。城陽市では、子どもの医療費の窓口負担は小学校卒業まで月200円だったのが、今年9月から中学校卒業までに拡充されます。京都市の子ども達だけ、医療費が高いのです。一刻も早く、子どもの医療費の助成制度を拡充するために運動も広げていきましょう！

つぶやき : 何..? なんで手を結ばないの?

写真は、東京中央の憲法集会の一コマ。生活の党、社民党、共産党、民主党が党派を超えて憲法を護ろうと挨拶があった後、民主党の長妻議員が志位委員長が差しのべた手を取らずに無視をするという失礼な場面。参加者から、こんな態度を取るなら、集会に来なけりゃいいのにと呆れられたそうです。民主党の先が見えたような...



民主党の先が見えたような...

本人のやる気を持つ...

アンテナ



親が子どもに、やいやい言っても仕方ないとわかっていても、ついっい ぞうするの?」と言ってしまふことはありませんか?

先日は、せっかく行きだした車の教習所を仮免許前に、行かなくなりました。まだ、期限は大丈夫なのですが、そろそろ行ったら...」と言うと、今、やる気がなくなっているとのことで、やる気が出てくるまで待つて...」と言いました。待つてくれと言ったのは初めてでした。その言葉を聞いて、改めて、待てばいいのかと思いましたが、なかなか忍耐のいることですが、親は見守るしかないのかもしれない。

友達と、自転車で琵琶湖を一周してみたり、雲ヶ畑や花背の方までサイクリングに出かけたりもして、元気にはしているのに、まっぴいかに!と思うようにしています。子育ては忍耐かもしれません。

